

ボーイルと三人

わたしの名前はいり。小学二年生の女の子。みんなとボーイル遊びが好きで公園で遊ぶのが好き。今日はとなりのクラスの友達と公園でボーイル遊びをしている。最初はパスパスをしていった。友達は投げるのがとくいでした。わたしも投げるのがとくいだから二人ともドッチボーイルがとくいだった。

最初は近くでパスパスをしていたけど、ごんごんはなれてやめた。

わたしはボールが友達にわたるように少し強めに投げた。友達がボールをキャッチした。友達がキャッチしたので五歩さがした。友達が小さく見える。

そして、友達がボールを投げるしゅんかん強い風がふいた。風のカでボールがすごいいきおいでとんだ。木の葉が飛んできた。わたしは目をつぶした。

風がおさまって目をあけたらボールがど

ここに飛んでいってしまった。

それで友達と手分けしてボールを探したけれ

ど、ボールがなかなか見つからない。

少しはなれたところに木があった。

木にはさまっていか探していたら白い服

を着た友達のせなかが見えた。

そして、近づいて声をかけた。

「かた君、ボール見つかった？」

そしてたらふり向いてくれた。すると人たちが

いざ、たのでちがう人が声をかけてわたしは

なにも言っていないが、たようにその場から

ちさろこしたたらその男の子に声をかけられ

た。

「どうしたの？ぼくの事知ってる子？」

わたしはその男の子は知らないか、たのでその

子に言葉を返した。

「し、知らないよ。」

そしてたらその男の子から返事が返ってきた。

「そうなんだ。ボールとか言ってくれどボ

ールがどうしたの？」

1
5
10
15
20

それでわたしは勇気をふりしぼって言った。
 きき強い風がふいたから、ボール遊びに
 使ったボールが飛んでいっちゃったかたいてい、
 しに深してくれたい？
 そしたら男の子がこう言った。
 ぼくでよければいいよ。
 そしてわたしはこの子はやさしいんだな
 と思えた。

それでわたしはうれしか、たからこう言
 った。

ありがとう。

わたしはその子にこう言った。

きみの名前は？わたしの名前はあいり。

その子はわたしにこう言った。

ぼくの名前はひかる。よろしくね。

そして友達が変わったところに来たのでわ

たしは友達にわけを話して、三人でボールを

深した。すると、ひかるくんが公園のベンチ

の近くでボールらしきものを見つけた。そし

てみんな集まって見てみた。そのボールだ、

た。わたしはとてもよろこんだ。そして、ひ

かるくん、にこう言った。わたしのボトルを見つけてく

れてありがとう。

そして、みんなでパスパスをした。

そして、しばらく遊んでみんなであたしが

持ってきたおかしを食べ、みんなであらうい

ろ話したりした。

そして五時になってみんな帰っていった。

わたしは、今日、友達が一人ふえたと思っ

た。

Handwriting practice grid with 20 columns and 20 rows. The grid is mostly empty, with a vertical line in the 10th column.